

# 質 問 書

2023 年 2 月 10 日

「(案件名)フィリピン国バンサモロ自治政府能力向上プロジェクト(市場志向型農業振興)」

(公示日:2023 年 2 月 1 日/調達管理番号:22a00866)について、質問と回答は以下の通りです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	企画競争説明書全体	説明書では、「Municipality」を「市」と記載していますが、通常、フィリピンの行政は、日本語表記にすると、Cityが「市」で、Municipalityは「町」かと思料します。プロポーザルでは、Municipalityを意味する場合、「町」と記載してよろしいでしょうか。	「町(Municipality)」と記載ください。
2	p.11 第6条実施方針及び留意事項 (8)PDM に基づいたプロジェクト活動の実施 p.20 2. 業務実施上の条件 (4)配布資料	P11ではPDMに沿った活動を指示されています。 P20の配布資料の案件概要表のP12には、成果2の活動で、【市場志向型農業振興(SHEP)】とあり、活動2.11～活動2.14と、番号がとともに記載があります。企画説明書の14ページの「(10)成果2に関する活動」は2.1～2.4の番号がふられています。さらに配布資料のR/DでのAnnex3のOutput2の活動は、2-1～2-7で、陸稲の活動が英語で記載されています。 ①最新のPDMの英語版を共有いただけないでしょうか。 ②次に、プロポーザル上での「(10)成果2に関する活動」では他の資料でのPDMの活動番号を気にすることなく、2.1、2.2、2.3、2.4と表記	最新のPDMを配付資料に追加しますので、ご希望の場合はガバナンス・平和構築部平和構築室 gpgpb@jica.go.jp までご連絡をお願いいたします。 活動番号につきましては、企画競争説明書に準じて2.1、2.2、2.3...と記載ください。

		すればよろしいでしょうか。それとも、案件概要表に準じて、2.11、2.12、2.13、2.14 と記載すべきでしょうか。	
3	p.11 (7)プロジェクト・オフィスの設置及び費用分担  p.20 (5)対象国の便宜供与	「本プロジェクトのオフィスは JICA フィリピン事務所が設置し、本プロジェクトが必要な費用を支出し、管理しているコタバトプロジェクト事務所 (Cotabato Project Office, CPO)での執務が可能である」と記載があります。この場合の「本プロジェクト」は「バンサモロ自治政府能力向上プロジェクト (CDPB : Capacity Development Project for Bangsamoro)」とお見受けしますが、機材、金庫の追加が必要でしょうか？また、R/D の 6 ページには BTA 内に執務室が提供されとの記載がありますが、これは MAFAR 内に専門家や雇用スタッフの執務室を確保できるという理解で宜しいでしょうか？	ご理解の通り、ここでの「本プロジェクト」は CDPB プロジェクト全体を指しております。CPO に一般事務機器や普及用を使用する機材の追加は基本的に不要と考えておりますが、特別な機材等の必要性があれば、ご提案をお願いいたします。また、金庫については、受注者側で現金出納の関係で金庫が必要ということであれば、計上ください。  また、MAFAR は執務室自体が極めて限られており、MAFAR 内での執務室の確保は、厳しいものと認識しています。
4	p.12 (13)合同調整委員会(JCC)の開催	合同調整委員会(JCC)の開催が活動の一つですが、開催費用(会場費、交通費、消耗品、衛生用品)は完全に本プロジェクト持ちですか？ SHEP 事業は当該専門家の交通費や資料準備などの費用は発生するのでしょうか？	JCC の開催費用は CDPB プロジェクト本体の負担ですが、当該専門家や C/P の交通費は本契約案件(SHEP 事業)による負担を想定しております。また、資料準備は活動としては発生しますが、CPO の機材・消耗品を使用するため本案件での費用負担は発生しない想定です。
5	p.13 TWG の開催	TWG の開催が活動の一つですが、開催費用(会場費、交通費、消耗品、衛生用品など)は完全に SHEP 事業持ちですか？本プロジェクト持ちですか？また、対面での開催という理解で宜しいでしょうか？	TWG の開催費用は本契約による負担となります(CDPB 本体プロジェクト負担ではありません)。  TWG は対面での開催が基本ですが、JICA 本部やフィリピン事務所等とはオンラインでも繋ぐ可能性があります。

6	<p>p.14 (10)成果2に関する活動の2.1</p>	<p>『既に対象地域である Batangas で 4 日間の TOT を独自に実施しているので、実施プログラムなどの情報を参考にする』とあります。もし、こちらの間違いでなければ、Batangas はルソン島内の「州」かと思料します。</p> <p>TOT を独自に実施したのが、Batangas でなく、バンサモロ地域内の City や Municipality であれば、その地名を教えてください。</p> <p>さらに、もし、ルソン島の Batangas で行われた TOT であれば、参考にすべき実施プログラムを共有いただけないでしょうか。</p>	<p>記載に誤りがありましたので、以下のとおり修正します。</p> <p>(修正前) 「中央の農業省 (Department of Agriculture、DA) 職員が、既に対象地域である Batangas において…」</p> <p>(修正後) 「中央政府農業省から JICA 課題別研修に参加した研修員の出身地である Batangas 州において…」</p> <p>TOT の実施プログラムを配付資料に追加しますので、ご希望の場合はガバナンス・平和構築部平和構築室 <a href="mailto:gpgpb@jica.go.jp">gpgpb@jica.go.jp</a> までご連絡をお願いいたします。</p>
7	<p>p.14 (10)成果2に関する活動の2.2</p>	<p>『農民グループは、1 バッチに 10 グループ、各 40 名程を想定しており』と記載があります。</p> <p>フィリピンの農家グループは、いわゆる Multipurpose Cooperative (多目的組合) といった生産・加工組織から小規模の農家グループなどが混在し、そのメンバー数も一定ではないと思料します。バンサモロ地域でも同様な状況かと思料します。</p> <p>『40 名程度』は、その規模のメンバーがいるグループを必ず選定する、ということでしょうか。それとも、あくまでも目安であり、40 名に満たなくても、SHEP アプローチを導入する上で、農家組織としての適性が認められれば、40 名に達しなくても対象グループに選定して良いと解釈してよろしいでしょうか。</p>	<p>左記のとおり仮定しましたが、40 名というのは積算上の目安です。実際には、グループの選定基準を検討いただき、人数も含めて総合的に選定いただきたいと考えております。</p>

8	p.14 2.4 対象農民の生計活動をモニターする。	エンドライン調査など活動の結果を、MAFAR および関連機関、各地方自治体、発注者と共有する会が想定されていますが、こちらはエンドラインないし 3 バッチの定額計上に含まれているという想定でしょうか？	ご理解のとおり、定額計上(1研修実施費用)に含まれている想定です。
9	p.15 第8条 報告書等	報告書等、発注者に提出する書類の表には、「ワークプラン(英文) 和文3部、英文3部」と書いてありますが、ワークプランは和文3部、英文3部が必要だという理解で宜しいでしょうか？	ワークプランの和文は不要ですので、英文3部(別途先方政府機関用に15部用意)をお願いいたします。
10	15 ページ 第8条 報告書等	「ワークプラン及び業務完了報告書(Completion Report)については、先方政府機関への共有に、別途必要部数(電子データ+15部程度)を用意する」とありますが、ワークプランと業務完了報告書をそれぞれ15部ずつ追加、という理解で宜しいでしょうか？ 予算計上は可能でしょうか？	<p>ワークプランと業務完了報告書を、発注者への提出とは別に、それぞれ15部ずつご用意いただく想定です。</p> <p>P15 「第8条 報告書等」 ワークプラン(英文)部数 【修正前】3部 【修正後】18部 Completion Report (英文)(製本版) 部数 【修正前】3部 【修正後】18部</p> <p>業務完了報告書はJICA規定に沿った製本版を含めます。該当部分を明示するために以下の通り修正します。予算を計上ください。</p> <p>これに伴い、p22 の上限額を以下のとおり修正します。 【修正前】125,362,000円 【修正後】125,662,000円</p>

11	p.20 (5)対象国の便宜供与	車両(プロジェクト貸与)有りと書いてありますが、本プロジェクトと SHEP 事業の日程が重なれば、使用できなくなる可能性はないでしょうか？追加で車両借り上げを見積もった方が良いでしょうか？	CDPB プロジェクト本体にて複数の車両を保有しており、本体契約用に1台は原則確保される予定のため、日常的な使用のための車両借り上げ見積もりの必要はありません。
12	p.23 (5)定額計上について	研修実施費として定額計上するSHEP研修3バッチ用の実施費用には、会場借上費、文具・電気消耗品、参加者謝金等全て含まれている想定でしょうか？	定額計上 1研修実施費用には、参加者の食費(慣習上必要な茶菓・昼食)・宿泊費・交通費、会議室代、会場設営費、フィールドスタディツアー用の車両費、研修用資料及び文具代、その他雑費が含まれると想定しております。

以上